



検定試験の内容

監査員検定では次のように4つのレベルが設定されており、各レベルは飛び級ができないステップアップ方式を採用しています。※2級受験のためには3級合格が必要です。

| 検定名 | 監査員通信検定 | | 監査員検定 | |
|--|---|---|---|---------------------|
| | 3級 監査員クラス | 2級 監査員メンバークラス | 1級 監査員リーダークラス | エキスパート エース監査員クラス |
| 料 金 | 5,250円 | 7,350円 | 10,500円 | 15,750円 |
| 対象規格と対応 | 全ての規格で共通した問題です。 | 規格別に用意しています。 QMS EMS ISMS Pマーク | | 全ての規格で共通した問題です。 |
| 受験条件 | 原則どんな方でも受験可能です。 | 3級に合格された方のみ受験可能です。 | 2級に合格された方のみ受験可能です。ただし規格が違う場合は受験できません。例) 2級のQMSだけ合格→1級のEMSの受験資格はありません。 | 1級に合格された方のみ受験可能です。 |
| 出題区分 | 全てのレベルの問題が、次の6つの区分で作られています。問題は、株式会社グローバルテクノ(http://www.gtc.co.jp/)の技術協力により作成されています。 | | | |
| | 設問 | 設問の説明 | | |
| | 監査知識 | 監査員に理解して欲しい、監査を行う際に必要となる基本知識を問います。 ex) 監査目的、監査機能、監査の原則、監査の取り組み方 | | |
| | 監査技術 | 監査員に体得して欲しい、監査を行う際に必要となる基本技術を問います。 ex) 適合・不適合の評価、要求事項の発見方法、客観的証拠の収集方法、是正評価 | | |
| | マネジメント | 監査員に推進して欲しい、マネジメント力や役割等を問います。 ex) PDCAサイクル、目的・目標と実行、監査員の役割と機能 | | |
| | オペレーション | 監査員に実践して欲しい、計画から改善フォローアップまでの活動姿勢を問います。 ex) 計画書作り、評価方法、報告の仕方 | | |
| | 専門技術 | 監査員に習得して欲しい、規格別の認識や専門技術を問います。 ex) 規格要求事項の理解、特有の専門見識 | | |
| その他 | 監査員に意識して欲しい、個人的特質や基礎能力を問います。 ex) 論理力、観察力、視点、倫理性 | | | |
| ※ISO19011やISO9001、ISO14001等の規格要求事項やその他関連技術を基に出題されます。 | | | | |
| 認定有効期間 | 監査員検定は各レベルに認定有効期間を設定しています。認定有効期間内に同じレベル(又は次のレベル)に受験頂かないと認定が失効になります。 | | | |
| | 認定有効期間：3年 | | 認定有効期間：2年 | |
| 受験時間 | 約1時間で実施できるように作られています。 | | ※現在、約2～3時間で実施できるように検討中です。 | |
| 配 点 | 設問は1問2点×50問の100点満点です。 | | ※現在検討中です。 | |
| 合格基準 | 60点以上を合格として評価しています。 | | ※現在検討中です。 | |
| 受験形式 | 3級と2級は配送形式を採用しています。配送形式とは、指定会場での試験ではなく、会社や自宅で試験を実施する方式となります。 | | 会場形式の採用となります。 ※会場・日時は未定 | |